

世界ジオパークネットワーク加盟審査の経過

日本ジオパーク委員会事務局

1. 書類審査

2008年12月24日：三地域の申請書一式をUNESCO本部のGGN事務局へJGC事務局から提出

2009年3月12日：追加情報と説明を求めるコメントがGGN事務局より届く

2009年5月：追加情報、修正した申請書をGGNへ三地域が相次いで提出、書類審査終了。

申請書のジオサイトの記載を含む地球科学的部分に関しては三地域とも高い評価を受けた。運営体制、今後の運営計画に対して多くの疑問点、情報・説明不足の指摘を受けた。ジオサイト等の保全に関して追加情報を求められたため、日本の自然公園制度と文化財保護に関して事務局で資料を作成し修正申請書に添付した。

2. 現地審査

2009年5月下旬：糸魚川への現地調査の日程調整と決定

2009年6月初旬：島原半島、洞爺湖有珠山への現地調査の日程調整と決定

・糸魚川：7月12-15日

現地審査委員

Dr. Nickolas Zouros : GGN bureau, European Geoparks Network (EGN) Co-ordinator, Department of Geography, University of Aegean

Dr. Patrick McKeever : GGN bureau, EGN Vice Co-ordinator, Geological Survey of Northern Ireland

評価された点：Geodiversityが高く、プレート境界とされる糸魚川静岡構造線が見られる。ヒスイをはじめとして地質・岩石と人間生活との関係を学ぶテーマが多くある。拠点となる良い博物館があり、ジオサイトは良く整備されている。すでに20年近くジオパークの活動に取り組んできており、市をあげた取り組みとなっている。地元住民が積極的にジオパークの活動に参加している。

指摘された改善点：博物館での鉱物・化石標本の販売を中止すること。ヒスイの加工販売は地域の伝統産業であり、河川・海岸の礫を拾って加工を行う限り持続可能であるので認められるが、大型のヒスイの販売は中止すべきである。説明板は12才の子供がわかるレベルのものにすること。ジオパーク内の博物館、展示施設がそれぞれ相互に連携を強めること。

・洞爺湖有珠山：7月16日-19日

現地審査委員

Dr. Ibrahim Komoo : Coordinator of Asia Pacific Geopark Network Initiative, GGN bureau, Director of Southeast Asia Disaster Prevention Research Institute, University Kebangsaan

Malaysia

Dr. Mohd Shafeea Leman : Deputy Director of Institute for Environment and Development, University Kebangsaan Malaysia

評価された点: 人が生きている間に火山が形を変えていくというこのジオパークの特徴は、GGN に類がない。ビジターセンター、遊歩道が良く整備されており、多くの児童、市民に対する火山に関する教育・啓発活動が活発である。エコミュージアムの活動を通じて運営組織もできている。三松氏が個人として始めた昭和新山の保全があり、2000 年噴火の火口がすぐに特別保護地域に指定されるなど国立公園としての保全措置があり、geoheritage の保全のレベルは高い。

指摘された改善点: 地域社会のさらに積極的な関与が必要。説明板をもっとシンプルにし、詳しいことが知りたい人にはパンフレットやガイドブックを用意すべき。有珠山周辺の遊歩道では、ガイドの説明、説明板に植生など生物に関する要素が必要。何カ所かあるインフォメーションセンターの役割分担を明確にするるとともに、相互連携を取るべき。ガイドの質を保つ工夫が必要。

・ 島原半島 : 8 月 14 日-17 日

現地審査委員

Mr. Chris Woodley-Steward: Director of Northpennines Geopark, Advisory Committee member of European Geoparks Network

Dr. Elizabeth Pickett: Geodiversity Officer of Northpennines Geopark, UK

評価された点: この地域は人と Geology が良い面でも悪い面でも密接な関係にある場所であり、人がジオに出会う場所として素晴らしい。良いジオサイトが多数あり、火山・火砕流・土石流を実感できる素晴らしい施設がある。三市をはじめとして多くの団体が協力する運営組織がある。ビジターセンターのガイド、各地の地元ガイドなどガイドシステムができている。野外の説明板の図や写真の使い方が上手である。

指摘された改善点: 運営組織内の責任分担を明確にすること。ジオパーク全体の将来計画を明確にし、ジオパークを前面に出した広報活動を行う。災害記念館をコアとし、各地の施設間で連携を深める必要がある。一部に見られる難しすぎる説明板やパンフレットの改善が必要。現在生物中心のツアーを行っているところでも、ジオパークとしてジオの話を加えてほしい。

3. 審査結果発表

8 月 23-25 日に中国泰安市で開催された International Symposium on the Development within Geoparks に先だち、同地で 8 月 22 日に行われた GGN Bureau Meeting において最終審査が行われた。23 日同シンポジウムの席上、ユネスコ自然科学局生態地球科学部の Dr. Patzak により、日本からの三地域と中国からの二地域が GGN 加盟を認められたことが発表され、GGN 加盟地域はこの時点で 19 ヶ国 63 地域となった。この結果は現地の JGC 事務局から関係者に伝えられ、日本の JGN 事務局からプレスに連絡された。